

このからの学校と地域

第1号

第1回学校運営協議会

馬頭東小コミュニティ・スクール開始

地域とともにある学校づくりに向けて協議

馬頭東小学校では、町内の他の小中学校に先がけてコミュニティ・スクールをスタートさせました。

4月27日（火）に馬頭東小学校図書室において、第1回馬頭東小学校運営協議会が開かれ、学校と地域の代表者が、地域とともにある学校づくりに向けて協議しました。

学校運営協議会メンバー

学校運営協議会のメンバーは次のとおりです。委員の方は教育委員会が委嘱した地域の代表です。

前学校評議員3名、地域住民代表2名、保護者代表、地域コーディネーター、前PTA会長、地域スポーツ指導者、校長の10名が委員となっております。（那珂川町学校運営協議会規則第8条第2項による）
このような方々が一堂に会し、地域の教育について協議するのは大変価値のあることではないでしょうか。



学校運営協議会の様子

令和3年度	令和4年度
馬頭東小	馬頭小・馬頭中 小川小・小川中

コミュニティ・スクール運用スケジュール

学校運営協議会では次のような内容が協議されました。

- ・学校運営協議会規則の確認
- ・学校運営基本方針等の承認
- ・学校教育活動の説明
- ・協議テーマについて
- ・年間計画の確認

特に「協議テーマ」については、コミュニティ・スクール導入初年度であることから、令和3年度中をかけて、テーマを熟議していきます。

ただし、協議の方向性は、「子ども」を中核に、「学校を場に」した取組を進め、教育課程とともにある地域活動となるよう留意するということが確認されました。そこで学校から次のような案が提示されました。

笑顔いっぱい
元気いっぱい
夢いっぱい
たくましく生きる子どもたちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくり

次回の学校運営協議会では、この案をどのように学校と地域で具現化していくかを話し合う予定です。



熟議とは

多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、課題解決をしていくことです。多くの学校運営協議会で取り入れられている方法です。

学校と地域が力を合わせて子どもを笑顔に

学校

学校と地域と一緒に力を合わせると

地域

コミュニティ・スクール (学校運営協議会を設置した学校)

地域や保護者の皆様などから選ばれた委員と学校が、よりよい学校づくりについて話し合います。
馬頭東小では・・・
笑顔いっぱい 元気いっぱい
夢いっぱい
たくましく生きる子どもたちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくりを目指します。



一体的に推進

地域学校協働本部

地域や保護者の皆様でつくるボランティアの組織です。学校を手伝ったり地域で子どもたちのための活動を実施したりします。

馬頭東小では・・・
・草取り隊
・図書応援隊
・下校見守り隊
・掃除の神様隊
・学習支援隊
で活動しています。

未来を担う子どもたちを心豊かに育むためには、学校と地域がパートナーとして力を合わせ、子どもたちに関わることが大切です。
那珂川町教育委員会は、学校では「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」、地域では「地域学校協働本部」の組織を整え、地域や保護者の皆様とともに子どもたちを笑顔にする取組を進めていきます。

子どもたちが笑顔に

例 学校と地域が力を合わせることでこんな効果が期待できます。

子どもにとって

- ・体験活動等の学びが充実します。
- ・ふるさとを大切に思う気持ちが高まります。

学校にとって

- ・学校を理解し、支えてくれる方々が増えます。
- ・地域と協働体制がつけられます。

保護者にとって

- ・地域とのつながりが深まります。
- ・地域で子どもが育まれる安心感が生まれます。

地域にとって

- ・子どもたちの成長に関わる喜びが得られます。
- ・互いに知り合い、助け合う地域になります。

地域連携マイスター 鈴木廣志先生
既にたくさんの地域の方が、ボランティアとして教育活動に参加されています。今後は楽しみです。



連携推進会議の様子
本事業の実施計画の検討、モデル校における支援の内容を話し合いました。

栃木県教育委員会は学校と地域の連携協働体制づくりを支援する取組を進めています。事業名は「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」といいます。馬頭東小学校をモデル校に指定し、馬頭東小と地域の取組を支援していきます。現在は「地域とともにある学校づくり」を中心に支援を進めています。

栃木県教育委員会もバックアップ

